

平成16年9月22日公表

### 平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在における作柄概況

9月10日現在における作柄概況は、各地域の水稻の生育段階に応じて、計測可能な穂数やもみ数等の収量構成要素の実測値を基に、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測したものである。このため、今後の気象条件及び病虫害被害の進行状況により作柄は変動することがある。

#### 調査結果の概要】

- 1 平成16年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は、170万4,000haで、前年産に比べて3万4,000ha（2%）増加した。
- 2 9月10日現在における水稻の作柄は、8月中旬以降相次いで日本に接近、上陸した台風第15、16、18号の影響により北海道、東北及び北陸の日本海側、中国、四国及び九州で被害が発生し、一方、それ以外の地域では生育・登熟がおおむね順調に推移していることから、農業地域別の作況指数（10a当たり平年収量対比）は北陸及び四国が98、北海道、東北及び九州が99、中国が100、東海及び近畿が102、関東・東山が106と見込まれる。

この結果、全国では、作況指数101で、10a当たり収量は528kgが見込まれる。

#### 全国農業地域別作況指数（9月10日現在）



注：沖縄県の作況指数は第一期稲である。

## 【解 説】

1 平成16年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は、170万4,000haで、前年産に比べて3万4,000ha（2%）増加した。

これは、前年産に比べて米の生産目標数量が増加したことや米政策改革により単収の低下を伴う有機栽培等の取組が図られていることなどから、大豆等他作物からの転換や不作付地への作付けがあったためである。

2 9月10日現在における水稻の作柄は、北海道については生育・登熟はおおむね順調であったものの、台風第18号の影響により主産地である空知、上川を中心に脱粒、倒伏等が発生したこと等から、作況指数99の10a当たり収量523kgが見込まれる。

東北は、日本海側の地域で日照不足の影響により生育が抑制気味であったことに加え、秋田県及び山形県で台風第15、16、18号の影響により潮風害、倒伏等が発生し、一方、太平洋側の地域では生育・登熟とも良好であったことから、作況指数99の548kgが見込まれる。

北陸は、集中豪雨の影響を受けた新潟県及び福井県の一部を除き生育・登熟はおおむね順調であったものの、台風第15号等の影響により新潟県で潮風害、倒伏等が発生したことから、作況指数98の520kgが見込まれる。

関東・東山、東海及び近畿は、6月以降気温・日照とも平年を上回って推移しているため、もみ数が総じて平年並みないしやや多く、登熟も良好に推移していることから、関東・東山は作況指数106の558kg、東海は102の510kg、近畿は102の512kgが見込まれる。

中国、四国及び九州は、生育はおおむね順調であったものの、台風第15、16、18号の影響により穂ずれ・もみずれ、倒伏、脱粒、潮風害等が発生したことから、中国は作況指数100の515kg、四国は98の472kg、九州は99の496kgが見込まれる。

この結果、全国では、作況指数101の528kgが見込まれる。

平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在の10a当たり（予想）収量・作況指数  
（全国農業地域別）

				単位 { 作 付 面 積 : ha 対 前 年 比 : %		
全国農業地域	作 付 面 積 ( 青刈り面積を含む )	前 年 産 と の 比 較		10 a 当たり ( 予想 ) 収 量	10a 当たり 平 年 収 量	作 況 指 数
		対 差	対 比			
				kg	kg	
全 国	1 704 000	34 000	102	528	525	101
北 海 道	120 500	2 600	102	523	528	99
東 北	441 000	10 700	102	548	555	99
北 陸	216 600	4 700	102	520	532	98
関東・東山	312 700	7 300	102	558	526	106
東 海	108 900	600	101	510	499	102
近 畿	116 200	1 300	101	512	502	102
中 国	122 600	1 900	102	515	515	100
四 国	59 400	300	101	472	483	98
九 州	205 200	4 800	102	496	500	99
沖 縄	1 100	50	105	362	376	96

注：沖縄県の10a当たり（予想）収量、10a当たり平年収量及び作況指数は第一期稲である。

【統計表】

1 平成16年産水稻の作付面積（都道府県別）

全 国 都道府県	作 付 面 積 (青刈り面積を含む)	前 年 産 と の 比 較	
		対 差	対 比
	ha	ha	%
全 国	1 704 000	34 000	102
北 海 道	120 500	2 600	102
青 森	53 700	1 500	103
岩 手	60 500	1 700	103
宮 城	79 500	900	101
秋 田	94 000	3 200	104
山 形	71 000	1 500	102
福 島	82 300	1 900	102
茨 城	78 700	900	101
栃 木	68 700	3 200	105
群 馬	19 300	300	102
埼 玉	37 400	600	102
千 葉	63 100	1 400	102
東 京	207	7	97
神 奈 川	3 300	20	99
新 潟	120 700	3 300	103
富 山	40 900	500	101
石 川	26 800	600	102
福 井	28 200	400	101
山 梨	5 510	30	101
長 野	36 400	800	102
岐 阜	26 400	100	100
静 岡	18 600	100	99
愛 知	31 500	400	101
三 重	32 400	200	101
滋 賀	35 100	700	102
京 都	16 600	100	101
大 阪	6 420	20	100
兵 庫	40 300	300	101
奈 良	9 830	50	101
和 歌 山	7 890	20	100
鳥 取	14 500	300	102
島 根	20 900	400	102
岡 山	35 200	500	101
広 島	27 400	200	101
山 口	24 600	500	102
徳 島	14 100	0	100
〔早期栽培〕	5 170	10	100
〔普通栽培〕	8 970	30	100
香 川	15 500	200	101
愛 媛	16 100	100	99
高 知	13 700	200	101
〔早期栽培〕	8 080	180	102
〔普通栽培〕	5 640	50	101
福 岡	42 300	1 600	104
佐 賀	29 300	900	103
長 崎	14 500	300	102
熊 本	43 700	1 300	103
大 分	26 400	100	100
宮 崎	23 000	700	103
〔早期栽培〕	9 900	230	102
〔普通栽培〕	13 100	500	104
鹿 児 島	26 100	0	100
〔早期栽培〕	6 570	90	99
〔普通栽培〕	19 500	100	101
沖 縄	1 100	50	105
〔第一期稲〕	682	15	98
〔第二期稲〕	416	65	119

注：1）青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。  
2）表中の「」は減少したものを示す。

2 平成16年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月10日現在）

都 道 府 県		出 穂 期						刈取済面積 割合
		始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較			
					対平年	対前年		
		月 日	月 日	月 日			%	
北海道		7. 23	7. 29	8. 4	4日早	8日早	5	
青森 宮城 秋田 山形 福島	森手 城田 形島	7. 29	8. 2	8. 5	6日早	11日早	0	
		7. 31	8. 4	8. 9	3日早	8日早	1	
		7. 28	8. 2	8. 6	3日早	11日早	0	
		8. 1	8. 3	8. 8	3日早	5日早	0	
		7. 31	8. 3	8. 10	3日早	8日早	0	
		7. 30	8. 6	8. 13	5日早	16日早	0	
茨城 栃群 埼千 東神	城木 馬玉 葉京 奈川	7. 23	7. 30	8. 7	4日早	11日早	46	
		7. 24	7. 30	8. 18	6日早	14日早	10	
		8. 6	8. 18	8. 26	4日早	9日早	2	
		7. 21	8. 7	8. 25	6日早	10日早	30	
		7. 14	7. 23	8. 2	3日早	9日早	87	
		8. 4	8. 11	8. 21	6日早	12日早	0	
新潟 富石 福山	湊山 川井	8. 2	8. 9	8. 16	4日早	7日早	1	
		7. 27	8. 4	8. 12	1日早	7日早	10	
		7. 22	8. 2	8. 7	並み	7日早	20	
		7. 21	7. 29	8. 4	3日早	6日早	55	
		7. 21	7. 28	8. 2	2日早	7日早	77	
		7. 29	8. 8	8. 17	4日早	8日早	3	
山長	梨野	7. 29	8. 5	8. 11	4日早	8日早	2	
		7. 21	8. 15	8. 30	4日早	6日早	19	
岐阜 静岡 愛三	阜岡 知重	7. 15	8. 11	8. 27	4日早	7日早	37	
		7. 21	8. 13	8. 28	5日早	7日早	30	
		7. 13	7. 20	8. 1	4日早	10日早	90	
		7. 22	7. 27	8. 13	3日早	12日早	47	
滋京 大兵 奈和	賀都 阪庫 良山	7. 25	8. 3	8. 17	6日早	11日早	41	
		8. 1	8. 20	8. 30	2日早	4日早	3	
		7. 30	8. 11	8. 25	2日早	4日早	26	
		7. 29	8. 21	8. 28	2日早	5日早	7	
		7. 14	8. 7	8. 23	2日早	4日早	24	
		7. 23	8. 5	8. 17	3日早	9日早	7	
鳥島 岡広 山	取根 山島 口	7. 18	7. 30	8. 15	5日早	13日早	37	
		7. 22	8. 18	9. 6	2日早	5日早	6	
		7. 22	8. 5	8. 19	5日早	8日早	22	
		7. 25	8. 7	8. 24	6日早	10日早	9	
		7. 3	7. 12	7. 25	5日早	3日早	100	
徳島	早期栽培 普通栽培	7. 12	8. 1	8. 23	7日早	7日早	49	
		7. 22	8. 22	9. 3	1日遅	並み	30	
香愛 高知	川媛 早期栽培 普通栽培	7. 13	8. 11	8. 28	4日早	6日早	35	
		6. 20	6. 30	7. 10	4日早	6日早	100	
		8. 10	8. 18	...	1日早	6日早	0	
福佐 長熊 大宮	岡賀 崎本 分 早期栽培 普通栽培	7. 30	8. 21	9. 2	3日早	4日早	14	
		7. 18	8. 23	9. 8	4日早	4日早	8	
		7. 13	8. 21	9. 5	3日早	7日早	16	
		7. 7	8. 18	9. 1	4日早	6日早	8	
		7. 28	8. 21	8. 29	4日早	7日早	3	
		6. 16	6. 21	6. 27	5日早	1日早	100	
		8. 14	8. 21	8. 30	4日早	5日早	0	
		6. 15	6. 21	7. 2	3日早	並み	100	
		8. 17	8. 23	9. 2	3日早	3日早	0	
		沖縄	第一期稲	5. 5	5. 25	6. 7	1日遅	1日遅

注：1）出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

2）表中の「...」は、9月10日現在において、その期日に達していないことを示す。

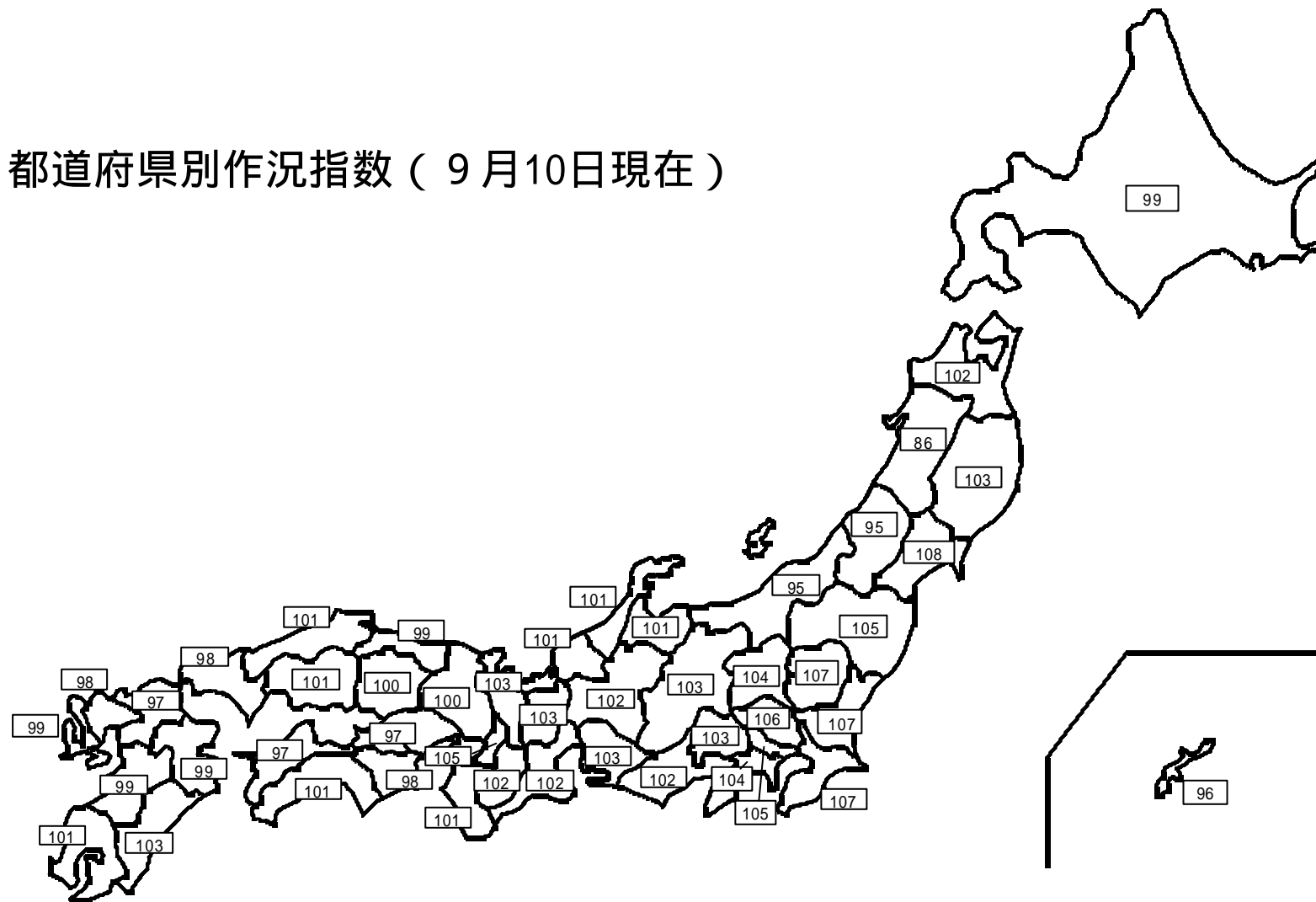
3 平成16年産水稻の10a当たり（予想）収量及び作柄概況（9月10日現在）

都道府県	10a当たり (予想)収量	10a当たり 平年収量	作況指数	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否
	kg	kg					
北海道	523	528	99	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良
青森	591	582	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
岩手	545	531	103	やや少ない	平年並み	やや少ない	良
宮城	564	524	108	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
秋田	493	573	86	少ない	平年並み	少ない	不良
山形	563	593	95	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
福島	557	533	105	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
茨城	547	511	107	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
栃木	567	531	107	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
群馬	510	492	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
埼玉	524	493	106	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
千葉	560	522	107	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
東京	418	398	105	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
神奈川	494	474	104	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
新潟	514	539	95	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良
富山	537	530	101	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
石川	520	516	101	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
福井	523	516	101	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
山梨	551	535	103	平年並み	やや多い	平年並み	やや良
長野	635	614	103	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
岐阜	493	485	102	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
静岡	530	521	102	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
愛知	515	502	103	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
三重	506	494	102	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
滋賀	529	515	103	少ない	多い	平年並み	やや良
京都	522	505	103	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
大阪	507	481	105	多い	平年並み	多い	平年並み
兵庫	497	497	100	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
奈良	516	505	102	やや多い	平年並み	平年並み	やや良
和歌山	493	487	101	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
鳥取	516	522	99	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
島根	511	505	101	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み
岡山	525	523	100	やや多い	平年並み	平年並み	やや不良
広島	522	517	101	やや多い	やや多い	多い	やや不良
山口	495	505	98	多い	やや少ない	平年並み	やや不良
徳島	464	472	98	...	...	...	...
香川	460	465	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛媛	466	477	98	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
高知	482	499	97	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや不良
	481	496	97	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良
	459	456	101	...	...	...	...
	489	474	103	平年並み	やや少ない	やや少ない	良
	415	430	97	やや多い	少ない	やや少ない	やや不良
福岡	484	500	97	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良
佐賀	517	529	98	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良
長崎	468	471	99	多い	やや少ない	やや多い	不良
熊本	505	512	99	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
大分	498	501	99	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
宮崎	499	485	103	...	...	...	...
	500	457	109	やや多い	やや多い	多い	平年並み
	498	506	98	多い	やや少ない	やや多い	不良
鹿児島	483	476	101	...	...	...	...
	458	432	106	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
	492	491	100	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
沖縄	...	...	...	...	...	...	...
第一期稲	362	376	96	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや不良

注：1）徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別に行っており県平均を取りまとめているため、「...」で示している。

2）沖縄県平均の「10a当たり（予想）収量」、「10a当たり平年収量」及び「作況指数」は、第二期稲が出穂前であるため「...」で示している。

## 都道府県別作況指数（9月10日現在）



注：1) 西南暖地の早期栽培の地域（徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県）は早期栽培、普通栽培をたし合わせたものである。  
 2) 沖縄県の作況指数は第一期稲である。

【参考】

平成16年産水稻の主な地帯別の作況指数（9月10日現在）

道府県 (作況指数)	地帯	作況指数	道府県 (作況指数)	地帯	作況指数
北海道 (99)	石狩	100	千葉 (107)	京葉	108
	空知	98		東下総	107
	上川	95		九十九里	107
	留萌	101		外房	106
	渡島	103			
	檜山	104		新潟	97
	後志	108		下越	97
	胆振	111		中越	93
青森 (102)	日高	107	富山 (101)	上沼	102
				佐渡	99
					64
岩手 (103)	青森	102	石川 (101)	東部	101
	津軽	99		西部	101
	南部・下北	108		加能	101
				賀登	99
宮城 (108)	北上川上流	103	福井 (101)	嶺北	101
	北上川下流	102		嶺南	101
	東部	104	山梨 (103)	国中	103
	南部	108		郡内	104
	下北	107			
秋田 (86)	南部	108		長野	105
	中北部	108	岐阜 (102)	東南	104
	中南部	108		中北	103
	北東部	107		北信	101
山形 (95)	県中	94	静岡 (102)	西濃	101
	北中央	71		中濃	103
	北南	94		東濃	103
				飛騨	101
福島 (105)	村山	101	愛知 (103)	尾張	102
	最上	95		西三河	103
	置賜	102		東三河	102
	庄内	87			
茨城 (107)	中通り	105	三重 (102)	北勢	103
	浜通り	104		中勢	103
	会津	104		南勢	103
				伊賀	100
栃木 (107)	北西部	106	滋賀 (103)	湖北	103
	北東部	108		湖南	102
	南西部	107			
	南東部	107			
群馬 (104)	北中部	106	京都 (103)	南北	104
	北南部	109			
	中南部	105			
埼玉 (106)	中北部	103			
	北東部	104			
	東西部	106			

平成16年産水稻の主な地帯別の作況指数（9月10日現在）（つづき）

道 府 県 （ 作 況 指 数 ）	地 帯	作況指数	道 府 県 （ 作 況 指 数 ）	地 帯	作況指数
兵 庫 （ 1 0 0 ）	県 南 県 北 淡 路	1 0 0 1 0 1 9 8	佐 賀 （ 9 8 ）	佐 賀 松 浦	9 7 1 0 2
和 歌 山 （ 1 0 1 ）	紀 北 紀 中 紀 南	1 0 1 1 0 1 1 0 1	長 崎 （ 9 9 ）	西 彼 東 南 県 部 五 北 島 島 杵 岐・対馬	1 0 0 9 4 1 0 3 1 0 5 1 0 8
鳥 取 （ 9 9 ）	東 部 西 部	1 0 0 9 8	熊 本 （ 9 9 ）	県 北 阿 蘇 県 南 天 草	9 9 9 5 9 9 1 0 6
島 根 （ 1 0 1 ）	出 雲 石 見	1 0 0 1 0 4	大 分 （ 9 9 ）	北 部 湾 岸 大 野・直入 南 部 日 田	9 6 1 0 0 1 0 4 1 0 3 9 8
岡 山 （ 1 0 0 ）	南 部 中 北 部	9 9 1 0 1	宮 崎 （ 1 0 3 ）	広 域 沿 海 広 域 霧 島 西 北 山 間	1 0 7 9 9 9 5
広 島 （ 1 0 1 ）	南 部 北 部	1 0 1 1 0 1			
山 口 （ 9 8 ）	東 部 西 部 長 北	9 8 9 7 1 0 2			
徳 島 （ 9 8 ）	北 部 南 部	9 8 9 9	早期栽培	広域沿海 広域霧島 西北山間	1 0 9 1 0 9 1 0 7
早期栽培	北 部 南 部	9 8 9 9	普通栽培	広域沿海 広域霧島 西北山間	9 9 9 9 9 5
普通栽培	北 部 南 部	9 8 9 9			
愛 媛 （ 9 7 ）	東 予 中 予 南 予	9 4 9 7 1 0 0	鹿 児 島 （ 1 0 1 ）	薩 摩 半 島 出 水 薩 摩 伊 佐 始 良 大 隅 半 島 熊 毛・大島	1 0 2 9 9 1 0 0 1 0 4 1 0 7
高 知 （ 1 0 1 ）	安 芸 中 央 幡 多	1 0 0 1 0 0 1 0 2	早期栽培	薩摩半島 出水薩摩 伊佐始良 大隅半島 熊毛・大島	1 0 6 1 0 3 1 0 4 1 0 6 1 0 7
早期栽培	安 芸 中 央 幡 多	1 0 3 1 0 3 1 0 4	普通栽培	薩摩半島 出水薩摩 伊佐始良 大隅半島 熊毛・大島	1 0 0 9 9 1 0 0 1 0 2 9 9
普通栽培	安 芸 中 央 幡 多	9 4 9 6 9 9			
福 岡 （ 9 7 ）	福 岡 北九州・豊前 筑 豊 北 筑 後 南 筑 後	9 8 9 8 9 8 9 6 9 5			



## 【利用上の注意】

1 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり(予想)収量の比率である。

1 統計表の3において、「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」で用いた表示区分は、各指標の平年値に対する比率を次のとおりの区分で表したものである。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

3 全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所 属 都 道 府 県 名
北 海 道	北海道
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北 陸	新潟、富山、石川、福井
関 東 ・ 東 山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東 海	岐阜、静岡、愛知、三重
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四 国	徳島、香川、愛媛、高知
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖 縄	沖縄



連絡先：農林水産省 大臣官房 統計部 生産流通消費統計課  
 面積統計班 電話(代表) 03 (3502) 8111 内線2828  
 普通作物統計班 " " 内線2831  
 (直通) 03 (3591) 4604

この資料は、農林水産省ホームページ【 <http://www.maff.go.jp/> 】  
 の「施策の動き・情報 >> 統計データ」で御覧いただけます。

## 水稲作況委員会（第3回）の意見

### 1 9月10日調査以降の気象の推移・予報等からみた作柄への影響

本年産水稲の作柄は、全般的に気象に恵まれ一部地域を除き豊作基調で推移していたが、前回の調査日である8月15日以降相次いで大型で強い勢力を保った台風が来襲したことから、北海道から九州にかけて台風の進路に近かった日本海側を中心に被害が発生し、とりわけ、秋田県及び山形県の沿岸部並びに佐渡では、戦後では例のない大規模な潮風害により作柄が大きく悪化した。

調査日以降の気象経過は、気温は北日本を除き平年を上回っており、日照も北日本と西日本の一部を除き平年を上回っている。また、気象庁発表の9月18日からの全般1か月予報によれば、気温は北日本と東日本で高く、西日本で平年並み、日照時間は平年並みか多いと予想されている。

このような気象の推移・予報からすると、今後の登熟はおおむね平年並みに推移すると見込まれる。しかしながら、これまで台風により穂ずれ・もみずれ、潮風害、倒伏等の被害が発生した地域では、秋雨前線や今後の台風による倒伏の進行や穂発芽等、遅場地帯では出穂後の高温・寡照による登熟不良の作柄への影響が懸念される。

### 2 次期の調査に当たって留意すべき事項

次期（10月15日現在）の調査に当たっては、以下の事項が収量に及ぼす影響を適切に反映する必要がある。

特に、潮風害については、通常の標本筆の他に被害調査筆を設置するなどにより、被害の正確な把握に努める必要がある。

- (1) 台風により発生した穂ずれ・もみずれ、潮風害、倒伏等の被害による品質低下やコンバインロス
- (2) 全国的に発生が多くなっているカメムシ類等による着色粒の混入
- (3) 出穂後の高温・寡照の気象経過による乳白粒等登熟障害粒の発生

### 【参考】

#### 水稲作況委員会委員

（座長）畑 中 孝 晴	（社）農林水産先端技術産業振興センター理事長
秋 田 重 誠	滋賀県立大学環境科学部教授
石 原 邦	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科教授
丸 山 幸 夫	筑波大学農林学系作物比較環境農学領域教授
山 川 修 治	日本大学文理学部地球システム科学科教授
近 藤 始 彦	独立行政法人農業技術研究機構作物研究所稲栽培生理研究室長
中 村 祐 三	全国農業協同組合中央会常務理事
古 川 泰 典	全国農業協同組合連合会常務理事
古 橋 政 弘	全国米穀販売事業協同組合常務理事

#### 【問い合わせ先】

農林水産省統計部生産流通消費統計課  
課 長 野 村  
（代表）03-3502-8111（内2810）  
（直通）03-3501-1012